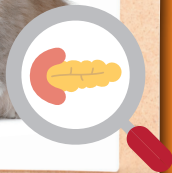


猫でも肥満は
糖尿病の原因に
なります。



過去2～3週間の血糖値を調べる検査をご紹介します。

過去2～3週間の血糖値を調べる検査 フルクトサミン検査

どんな検査ですか？

- フルクトサミンは糖化タンパクの一種で、過去2～3週間の血糖値の評価に用いられる指標です。グルコースと併せて糖尿病の診断やモニタリングに使用されます。
- 血糖値の指標としては主にグルコースが用いられますが、これは採血時の血糖値であり、食後や空腹時などの条件が大きく影響します。これに対して、フルクトサミンは過去2～3週間のより長期的な血糖値レベルを推測するものです。これらの血液検査に加えて、尿検査も重要です。
- 糖尿病は身体所見、病歴、その他の検査結果と併せて総合的に診断します。

糖尿病と診断されたら？

- 個々の病状に合わせて、インスリンの投薬および食事療法を組み合わせることで血糖値をコントロールします。
- きちんと定期的に通院して病状のモニタリングを行い、状態の変化に応じたインスリン量や食事の変更等を行うことが重要です。
- 生涯にわたる治療が必要なケースが多いですが、猫の場合は早期の適切な治療により、寛解する場合もあります。



糖尿病ってどんな病気？

- 主に中年以降に発生します。特に去勢した雄で多いことが知られています。
- 体内で糖を利用するために必要な、膵臓から分泌されるインスリンというホルモンの量が足りなかったり、はたらきが悪くなることで発生します。適切な治療を行わないと、高血糖が持続して様々な症状が起こる可能性があります。体内が酸性に傾き命にかかわることもあるケトアシドーシス、神経症状、感染症などが代表的です。糖尿病の原因としては肥満や膵炎などが関連していると考えられています。